

放射線部 たより *Radiation News*

創刊号

Vol.1 , 2021(July)



地域の皆さまへ ～「放射線部たより *Radiation News*」の発刊について～

放射線部の紹介

部長：稲場文隆（兼 放射線科部長）

副部長：中前光弘（兼 診療支援局 放射線部門長）

4月から当センターの組織改編に伴い「中央放射線部」から「**放射線部**」に名称を変えて、心機一転、運営の継続をおこなっています。診療局の放射線科(医師)、診療支援局の放射線部門(診療放射線技師と事務職員)、看護局(看護師と看護助手)が、各診療科の医師、その他医療専門職員と共に『放射線部』を共同で運営しています。年号が令和に変わり、高額医療機器の更新を進めて来ましたが、最新の画像診断とその技術を地域の皆さま方にご紹介する目的で「放射線部たより *Radiation News*」を定期的に発刊することとなりました。今後とも、よろしくお願いいたします。

主な設置機器一覧（令和3年7月現在）

種別	機器概要	メーカー	機種名
MR①	3.0 テスラ	G Eヘルスケアジャパン	SIGNA Pioneer AIR Edition
MR②	1.5 テスラ	G Eヘルスケアジャパン	SIGNA Artist AIR Edition
CT①	320 列	カナメディカル	Aquilion ONE
CT②	80 列	カナメディカル	Aquilion Prime SP
心臓血管撮影	ハイブレーション (FPD)	Philips ジャパン	Azurion 7 B12/12
頭腹部血管撮影	ハイブレーション (FPD)	Philips ジャパン	Azurion 7 B20/15
核医学検査	SPECT 対応カンマカメラ	カナメディカル	SYMBIAE/4C
骨密度検査	DXA	G Eヘルスケアジャパン	DPX-Bravo
乳房撮影	検出器 (FPD)	G Eヘルスケアジャパン	Senographe Pristina
放射線治療装置	リニアック	Elekta	Synergy
治療計画用 CT	80 列	カナメディカル	Aquilion Prime SP
治療計画装置	汎用	Elekta	MONACO
救命救急センター	320 列 CT	カナメディカル	Aquilion ONE
救命救急センター	Hybrid-ER 装置 (CT80 列/IVR)	カナメディカル	Aquilion Prime SP/ Alphenix INFX-8000C

『物忘れ・認知症』が気になったら・・・

最近、物忘れがひどいとか、認知症かどうかで悩んでおられる方、何が原因の認知症かを的確に診断することができれば、早く治療を始めることができ、周囲の理解の中で、できるだけ自然な老化に近い状態で暮らしていくことにつながります。

当院では**認知症の早期発見**のサポートをする MR 検査 (VS-RAD : プイエスラド) や核医学 SPECT 検査 (脳血流シンチ、ドパミントランスポータシンチ、MIBG 心筋シンチグラフィ) を行っています。

検査についての申し込みは、地域医療連携室にお問い合わせください。



“乳がん検診”のご案内

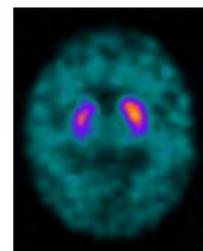
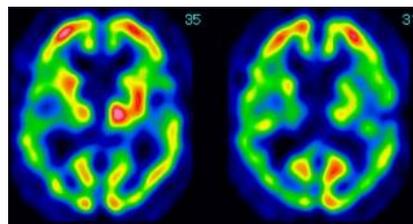
市民の皆さまを対象にした 令和3年度“乳がん検診”を実施しています。小さなお子様をお持ちの方も仕事がお休みの旦那さんに預けて、気軽に受診いただける**日曜日**に開催しています。(乳腺外科医師の視触診もあります)

日程は、第2回令和3年7/18、第3回9/5、第4回11/21、第5回令和4年1/16、第6回3/13です。

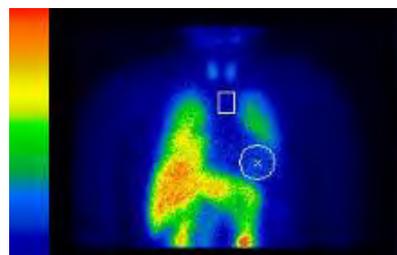
詳しくは、健康管理センター（内線：1296）まで、お問い合わせください。

★★編集後記★★

放射線技術科科长として就任し、新型コロナウイルスとの闘いの日々で、あっという間に1年が過ぎました。念願のひとつであった放射線たよりを発刊することができて、ホッとしています。これからも、地域の皆さんに愛されるりんくう総合医療センターの「放射線部」になれるように情報発信していきます。(中前)



核医学
SPECT 検査



更新された MRI 装置の紹介

昨年度は、1.5Tと3.0Tの2台のMRI装置が更新され、工事期間中は、紹介枠の減少で検査待ちが発生して、ご迷惑をおかけしました。

GEヘルスケア・ジャパン社製の1.5Tと3.0Tの装置が、4月から2台揃って稼働を始めています。本邦初となる最新のAI技術(Deep Learning 技術)を用いた画像処理を駆使して、より良い画像の提供を心掛けています。

Hybrid-ER システムが稼働！

併設する“泉州救命救急センター”に、CT装置と血管撮影装置が融合した、キヤノンメディカルシステムズ社製の最新『Hybrid-ER システム』が導入され、令和3年4月から本格的に稼働を始めました。

救急診療における重症外傷患者の救命率の更なる向上と安全性の高い救急医療を目指して、救命医師、看護師、その他メディカルスタッフが一丸となって、チーム医療を実践しています。



GEヘルスケア・ジャパン社製のフラットパネルディテクタ搭載の乳房X線装置を導入しています。

「マンモグラフィ 検診施設画像認定」も取得し、女性の認定技師が担当しています。

放射線部たより (Radiation News)

放射線科・放射線治療科・診療支援局放射線部門

発行責任者：稲場文隆 (放射線部 部長)

編集責任者：中前光弘 (放射線部 副部長)

Vol. 1 (創刊号) 発行日：2021年7月1日